

資産運用レポート：自己分析（2025年版）

1 はじめに

2月6日のショートコラム「30年間の投資で得られた教訓」をご覧になったでしょうか。
<https://www5f.biglobe.ne.jp/~dream3/column/c202502.html#20250206>

結論は下記のとおりです。

買った株は売るな

2月中の自己分析により、売ってしまった主な理由も分かりました。下記の2つです。

- (1) そもそも長期投資に値しないビジネスを選んでいった
- (2) 長期投資に値するビジネスを選んでいったのに、持ち続けられなかった

3月に入ってからはそこから一歩踏み込み、投資プロセスの見直しに着手しています。今回の資産運用レポートでは、一連の作業をまとめてみました。概要は下記のとおりです。

- (1) 過去のポートフォリオを時系列で振り返り、投資プロセスを可視化する
- (2) 改善すべき点を明確にしたうえで、投資プロセスの見直しを行う
- (3) 今後の指針となるべき、現時点における“たたき台”を示す

★2月6日のショートコラム「30年間の投資で得られた教訓」

■30年間の投資で得られた教訓（2025年2月6日）

今から30年前の1995年2月6日、意を決した私は職場の近くにある電話ボックスに入りました。

「プロミス100株買い、成り行きをお願いします」という注文の音が微妙に震えていたことを今でも覚えています。投資家としてデビューした瞬間です。

あれから30年の月日が流れました。30年間の投資で得られた教訓をまとめてみると、次の8文字に集約されます。

買った株は売るな

初心者時代「るいとう（株式累積投資制度）」で買っていた銘柄に、キーエンス（6861）とニトリHD（9843）がありました。「るいとう」とは、毎月の決まった日に一定額で個別銘柄を買い付ける積立投資です。

長期投資のつもりだったのに、売ってしまったのはなぜでしょうか。競争優位性を維持できているのに、そもそも売る必要があったのでしょうか。

たとえ他の銘柄が塩漬けになったとしても、この2社で十分にお釣りが来たのに、どうして持ち続けることができなかったのでしょうか。

おそらく持ち続けることが一番難しいからだと思います。「今まで出来なかったことを出来るようになる」が投資家人生の終盤戦における目標です。